

大学入試問題研究

樟蔭中学校・高等学校英語科教諭 相馬宏臣

本中学高校は平成 20 年度より中学校入学試験において、従来の「特進コース」及び「総合コース」から、新たに中高 6 年一貫教育を行う「選抜特進コース」と「特進コース」を設置し生徒募集を行い、現在その第 1 期生が高校 2 年生に進級している。

そして、この中高 6 年一貫コースが設置されるまで、英語科は中高別の組織として教育活動を行ってきたが、これを機に中高合同の英語科となった。また、大学受験指導においても、従来は担当者が個々に入試問題研究を行い生徒指導に当たっていたが、中高英語科として大学入試問題を研究し、その結果を英語科の全員で共有し、生徒への大学受験指導に生かすことにした。この大学入試問題研究では、本校の生徒が主に志望する国公立大学及び私立大学に合わせ、各大学の問題研究担当者を決め、過去数年間の入試問題を研究、分析し、問題解説を作成する。そして、そのデータを蓄積して最終的には研究冊子を作成する。

現在、国公立大学は大阪府立大学、大阪市立大学、神戸大学、神戸市外国語大学などの二次試験、私立大学は関西学院大学、関西大学などの研究を始めている。

また、この研究にあたり関西学院大学高等部英語科の松井久博氏にご指導をいただき、研修会などを実施している。

以下、筆者が担当した大阪市立大学 2012 年前期試験の問題解説の一部を紹介する。

大阪市立大学 2012 前期試験

解説

[第1段落]

① As an adult human being, you can communicate with me in a variety of ways. ② I can read what you write, listen to the words you speak, hear your laughter and your cries, look at the expressions on your face, watch the actions you perform, smell the scent you wear and feel your embrace. ③ In ordinary speech we might refer to these interactions as 'making contact', or 'keeping in touch', and yet only ①the last one on the list involves bodily contact. ④ All the others operate at a distance. ⑤ The use of words like 'contact' and 'touch' to cover such activities as writing, vocalization* and visual signalling is, when considered objectively, strange and rather revealing*. ⑥ ②It is as if we are automatically accepting that bodily contact is the most basic form of communication.

英文①

【語句】

as 「～として」 [前]

human being (動物に対して)「人間」

communicate with A 「A と意思を通じ合う」

a variety of A 「いろいろの A」

【構造】 大人の人間として、あなたは様々な方法で私と意思疎通をすることが出来る。

① As an adult human being, you can communicate with me in a variety of ways.
いろんな方法⇒抽象的な表現は、次の具体的な英文②で内容を理解する

英文②

【語句】

laughter 「笑い」 a を付けない

[例] He burst into laughter. 「彼はわっと笑い出した。」

laugh は一声の「笑い」 laughter はひとしきり続く「笑い」

expression 「表情・表現」 [動] express 「表現する」

perform [動] 「～を行う, ～を果たす, ～を演じる」

[名] performance 「遂行, 成績, 演技」

embrace [名] 「抱擁, 抱き合い」 [動] 「～を抱きしめる」

【構造】 私はあなたの書くものを読み、あなたの話す言葉を聞き、あなたの笑い声や泣き声を聞き、あなたの顔の表情を見、あなたのする行動を見、あなたが身にまとう香りをかぎ、あなたの抱擁を感じる事が出来る。

② I can read what you write, listen to the words you speak, hear your laughter and your cries, look at the expressions on your face, watch the actions you perform, smell the scent you wear and feel your embrace.

(1) A,B,C,D, . . . and J

* 3個以上の語句を並べるときは通例最後の語句の前だけに and を置く
A,B,C,D, . . . and J

I can {
 read
 listen to
 hear
 look at
 watch
 smell
 feel

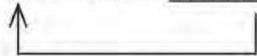
(2) 関係代名詞目的格の省略 (接触節)

* 名詞の直後に S V を置いて、その名詞を説明する (接触節)

listen to the words (which) you speak



watch the actions (which) you perform



smell the scent (which) you wear



英文③

【語句】

ordinary [形] 「普通の」

refer to A as B 「A を B と呼ぶ」

interaction 「交流, 相互作用」

and yet [接] 「それでも, けれども」

only 否定的意味合いを含む「～しか～ない」と訳せる

the one (前出の名詞の代用語として) 「もの, 人」

involve A 「A を必然的に含む [伴う]」

【構造】 日常の会話では、私たちはこれらの交流を「接触する」あるいは「接触を保つ」と表現するだろう。けれども、そのリストの最後のものしか身体接触を伴っていない。

③ In ordinary speech we might refer to these interactions as 'making contact', or 'keeping in touch', and yet only (1) the last one on the list involves bodily contact.

前文②が the list である。

- ① read what you write
- ② listen to the words you speak
- ③ hear your laughter and your cries
- ④ look at the expressions on your face
- ⑤ watch the actions you perform
- ⑥ smell the scent you wear
- ⑦ feel your embrace ⇒ the last one (1) の解答

英文④

【語句】

the others ③文の one に対して「残り全部」

operate 「動く、作動する」

at a distance 「離れて、距離を置いて」

【構造】 その他すべての行為は、離れてする動作だ。

④ All the others operate at a distance.

英文⑤

【語句】

use 「利用、使用」

like 「～のような」

cover 「範囲内に入る、～までに及ぶ」⇒「表す」

such A as B 「B のような A」

vocalization 「発声」 *vocal 「声の、ボーカル」

visual signalling 「目に見える合図」

objectively 「客観的に」

rather 「かなり、いくぶん」

revealing 「意味深い」 *reveal 「示す、見せる」

